

## 〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、13～20℃台を示し、平年並み～やや高い水温でした。

## 〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり7トンの水揚げ（前年を下回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり3トンの水揚げ（前年を上回った）。北松南部地区では、マイワシなどが1日1統当たり16トンの水揚げ（前年並み）。橘湾地区では、カタクチイワシが1日1統当たり8トンの水揚げ（前年を下回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり10kgの水揚げで、前週の16%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり120kgの水揚げで、前週の77%（前年を下回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり2トンの水揚げ。北松生月地区では、ブリなどが1日1統当たり1.9トンの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり107kgの水揚げ。対馬東岸地区では、カレイなどが1日1統当たり352kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、イサキが1日当たり194kgの水揚げで、前週の1.5倍（前年を上回った）。北松小値賀地区では、ブリが1日1統当たり23kgの水揚げで、前週の2.9倍（前年を上回った）。野母地区ではマダイが1日1統当たり24kgの水揚げ（前年を上回った）。
- 延縄――北松小値賀地区では、アマダイなどが1日1統当たり38kgの水揚げで、前週の62%（前年並み）。

## 〔日本海スルメイカ情報〕

今期（3/10～3/14）の沖合イカ釣は、船凍船は切揚。  
沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び浜田・隠岐周辺にかけて出漁した。  
境港基地の小型イカ釣船 入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）